

# Subtitles Script

## Slide 2

みなさん、こんにちは。

本日は、移動手段とエネルギーの未来を再構築する根本的な改革についてお話しします：電動モビリティについてです。

電動モビリティは新たな世界基準となりつつあります。2023年にはEV販売台数が1,400万台を突破し、総販売台数の18%を占め、欧州では新規登録車の約25%がEVとなるなど、先導的な役割を果たしています。

イタリアは重要な転換期に差し掛かっており、2030年までに再生可能エネルギー比率70%を目標としています。電動モビリティはこの移行の主要な役割です。2023年だけでも、イタリアにおけるEV普及率は51%増加し、充電インフラは34%拡大しました。

成長の一方で、環境への影響は避けられません。

電動モビリティは技術革新以上に、サステナビリティ革命における戦略的な原動力です。

## Slide 3

クライアントは、ハイパーチャージ充電サービス市場におけるイタリアを代表する企業です。

彼らの使命は、2032年までに500以上のサービスエリアを電化し、マルチエネルギーハブへと変えることです。これを実現するため、初期投資により300ヶ所に急速充電器および超急速充電器を設置し、EV充電インフラを拡大します。

よりスマートなエネルギー未来に向け、再生可能エネルギー、革新的な充電技術、付加価値サービスを組み合わせることで、持続可能なモビリティを推進しています。

## Slide 4

私たちの役割は技術パートナーとして、自社所有インフラとローミングインフラ双方の全工程対応充電ソリューションの設計・開発を主導することでした。顧客体験の設計、システムアーキテクチャ、運用プロセスの構築、**Syntphony**の設定、全システムを統合するモバイルアプリの開発に注力し、顧客要求を満たしました。さらに決済、カスタマーサポート、分析を担当し、スムーズな充電体験を提供しています。

## Slide 5

本プロジェクトは、初期設計から稼働後サポートに至るまで、アプローチに全ての設計フェーズを含めました。

## Slide 6

High Level Design(HLD)フェーズでは、で既に使用されている OIL IT インフラの評価を実施し、EV インフラの HLD を定義しました。

これを可能にするため、充電管理の全工程を表す **37 のプロセス**が事前に定義されました。

## Slide 7

Low Level Design では、システム間の想定される全ての相互作用とフローを定義することで詳細なターゲットアーキテクチャを確立し、800 ページを超える機能仕様書と技術仕様書を作成しました。

## Slide 8

開発フェーズでは、300 以上の API と 80 以上の機能を実装し、15 以上のシステムを統合しました。

## Slide 9

開発フェーズ終了時には、5,000 以上の統合テストおよび機能テストを実施し、システムのパフォーマンスとモニタリングを行いました。

さらに、NTT DATA はクライアントに対し、8 回の UAT セッションを支援しました。

## Slide 10

本番稼働前には、ユーザー体験とシステム性能を向上させるため、1 か月間のビジネスシミュレーションを実施しました。終了後、アプリはデジタルストアで公開され、顧客は 2024 年 12 月に eMSP として EV 市場へ参入しました。

## Slide 11

最大の課題は、各要素が特定の機能層を管理するターゲットアーキテクチャの設計でした。eMSP は中核的な役割を担い、モバイルアプリとインフラ全体の間でビジネスロジックを調整します。これにより、顧客の CPO 充電ステーション、相互運用パートナー、および NTT DATA の Syntphony platform との通信が可能となり、自社およびサードパーティの CPO 双方の EV 充電サービスを促進します。

## Slide 12

利用者は当社のプラットフォームでスムーズで直感的な体験ができます。アプリのダウンロードから充電まで、すべてのステップが簡単で使いやすいです。Google Play または Apple Store からアプリをインストール後、主要機能のガイドが表示されます。個人情報を入力して登録するか、ゲストとしてログインできます。アプリ内では、設定のパーソナライズ、車両情報の保存、決済方法の追加によりカスタマイズ可能です。利用可能な充電ステーションの検索、リアルタイム稼働状況の確認、事前予約によるストレスフリーな充電を実現します。

## Slide 13 – 14 - 15

アプリは EV 充電を簡素化・最適化します。

登録ユーザー向けには、請求とサービス最適化のための主要情報を収集するオンボーディングプロセスを用意。プロフィールでは車両情報の保存、お気に入りステーションの登録、RFID カードの請求などが可能。

スマートなホームページを特長とし、ユーザーの好みに合わせて、車両タイプ別にフィルターされた近隣のステーションを表示します。インタラクティブマップでは、保存済み場所への迅速なアクセス、リアルタイム価格表示、即時予約・充電が可能です。充電中はリアルタイム更新とライブトラッカーで完全な制御をします。完了時にはエネルギー消費量・費用・セッション詳細の概要を提供し、透明性と効率性を確保します。これらの要素の集合体が EV 充電体験のストレスを減らし、新たなモビリティ技術の普及を促進します。

## Slide 16

この IT ソリューションを導入したことで、顧客は次のようなメリットを得ています。：

- 全体一貫型のビジネスおよび IT 戦略を定義し、EMSP および CPO プロセスを支援するデジタルソリューションを構築。これにより、電動モビリティサービスと燃料・非石油サービスを統合した独自のサービスを提供すること

- 新しいアプリを通じ、オンボーディング段階からサービス提供まで
- 顧客満足度向上のため、必要なケアとアフターセールス支援を保証するカスタマーサポートサービスを導入

## Slide 17

本プロジェクトは、イタリアおよびグローバル市場において、NTTの資産、EMSPサービスを追加した Syntphony CPO サービスおよび新規開発アプリに多様な成長機会を創出するとともに、顧客とのパートナーシップ強化と NTT DATA の電動モビリティ分野における地位確立を実現しました。